

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 4月

1 東京都中央卸売市場(平成29年3月)の青果物取扱について

《入荷量》

【市場全体】野菜入荷量が平年比99%、果実が同99%、青果計では同99%と平年を下回った。

(野菜)主産地千葉県での作付面積減や1、2月の少雨の影響により、だいこんの入荷量が少なかった他はくさいが秋冬作の切り上がりの早期化により平年と比べて入荷減、ばれいしょ類が前年の収穫時期の曇雨天により北海道産の貯蔵量減、鹿児島での天候不良による収穫作業遅延の影響等から入荷減と、重量野菜を中心に、入荷量が平年を下回ったため、入荷減となった。

(果実)いちご類が、2番果と3番果の端境となり、2番果の着果負担の影響等から近在産地からの入荷量が平年を下回った他、かんきつ類についても小玉傾向や下級品の割合が高く、また、地方市場中心の入荷となったことから、都中央への入荷量が平年を下回り、入荷減となった。

【茨城】野菜入荷量が平年比102%、果実が同85%、青果計では同101%と平年を上回った。

(野菜)3月中下旬の低温の影響が多少見られたものの、春はくさい(八千代)、トンネル栽培レタス(岩井)の作柄が良好であった他、連続した晴天によりピーマンの着果・肥大とも順調で入荷量が平年を上回り潤沢であったことから、入荷増となった。

(果実)主要品目であるいちご類の2番果と3番果の端境が3月上中旬とやや長引き、3月全体の入荷量が平年を大きく下回ったことから、入荷減となった。

《金額》

【市場全体】野菜が平年比104%、果実が同108%、青果計では同104%であった。

(野菜)前年の曇雨天の影響により作柄不良であったばれいしょ類、にんじん等が単価高であった他、少雨による干ばつの影響による小玉傾向のキャベツ類についても入荷減・単価高の展開、作柄良好である春はくさいについても前年ほどの前進が見られないことから単価が堅調に推移しており、金額増となった。

(果実)主要品目であるいちご類が、九州産入荷量は潤沢である一方で、近在産地からの入荷量が平年を下回り、全体では入荷減・価格高の展開となった。また、みかん・かんきつ類についても前年より入荷量は増加傾向であるものの、販売環境が良く需要が大きいことから単価は堅調に推移し、金額増となった。

【茨城】野菜は平年比105%、果実は平年比98%、青果計では同104%であった。

(野菜)春はくさい、キャベツ類の単価が、前年は下回るものの平年と比べて高く推移し、金額増となった。

(果実)いちご類が入荷減による単価高の展開であったが、3月上中旬の端境期における入荷量が平年を大きく下回ったことから、その後3番果の入荷は順調であるものの月全体を通して入荷減となり、金額減となった。

茨城県の3月計の青果物入荷量は平年比102%(シェア10.7%)、取扱金額は同110%(シェア8.9%)となった。

3月	市場計 ※2			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H29	160,693	127,926	32,767	15,407	14,824	584	19,311	19,216	96
	H28	154,361	123,552	30,808	16,498	15,829	669	19,433	19,328	105
	(前年比)	(104)	(104)	(106)	(93)	(94)	(87)	(99)	(99)	(91)
	平年値※1	163,006	129,749	33,257	15,241	14,558	683	20,035	19,937	98
	(平年比)	(99)	(99)	(99)	(101)	(102)	(85)	(96)	(96)	(98)
金額	H29	48,490	33,367	15,123	4,383	3,791	591	4,041	3,927	114
	H28	49,679	34,213	15,466	5,177	4,497	680	4,080	3,953	127
	(前年比)	(98)	(98)	(98)	(85)	(84)	(87)	(99)	(99)	(89)
	平年値※1	46,528	32,096	14,039	4,209	3,609	601	3,956	3,853	103
	(平年比)	(104)	(104)	(108)	(104)	(105)	(98)	(102)	(102)	(111)

(単位：t, 百万円, %)

東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成29年1~3月計)

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~3月計)					
	1~3月計	年間計	年間比	1~3月計	年間計	年間比	千葉	北海道	青森			
数量	H29	475,811		50,847	←シェア(10.7%)		13.1%	9.0%	4.8%			
	H28	463,511	1,956,079	23.7	52,152	229,650	22.7	14.3%	9.5%	5.1%		
	(前年比)	103			97	シェア(11.3%)						
	平年値※1	476,532	2,013,667	23.7	49,733	226,294	22.0					
	(平年比)	100			102	シェア(10.4%)						
H29	141,710			12,542	←シェア(8.9%)		9.1%				4.2%	5.4%
H28	140,437	586,489	23.9	13,050	61,743	21.1	8.7%				3.4%	5.9%
金額	(前年比)	101			96	シェア(9.3%)						
	平年値※1	135,227	467,293	28.4	11,425	53,617	21.3					
	(平年比)	105			110	シェア(8.4%)						

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成24, 25, 26, 27, 28年の5ヵ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成28年実績
1~12月計
茨城県：金額シェア(10.5%)、数量シェア(11.7%)
千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.5%)
北海道：金額シェア(6.4%)、数量シェア(11.2%)
青森県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(6.2%)

2 東京都中央卸売市場(平成29年3月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※平年比は、平年値に対する本年値の割合を表す。
(平年値は平成24,25,26,27,28年の5ヵ年平均値)

野菜類の入荷量は14,824トン(前年比94%, 平年比102%), 単価は256円/kg(前年比90%, 平年比103%)。
果実類の入荷量は584トン(前年比87%, 平年比85%), 単価は1,014円/kg(前年比100%, 平年比115%)。

	品目	数量 t			単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	はくさい	3,992	98	103	87	124	123	172	146	495,963	121	174
	レタス	2,707	89	102	93	175	71	88	86	473,922	64	91
	ピーマン	855	125	144	128	481	77	78	75	411,299	97	116
	れんこん	469	70	62	74	743	111	153	143	348,433	78	99
	ほうれんそう	570	133	125	96	406	70	92	95	231,580	93	116
	きゅうり	723	94	100	109	257	85	81	82	185,801	80	83
	野菜類計	14,824	94	102	99	256	90	103	105	3,791,156	84	105
果実	いちご類	503	85	80	97	1,088	101	119	111	547,574	86	95
	果実類計	584	87	85	98	1,014	100	115	109	591,472	87	98

(野菜)

- ・はくさい 茨城県産はくさいは、1,2月の少雨の影響により、結城の出荷始めは小玉傾向が見られたものの、主産地八千代では玉肥大も平年並みに順調であり、入荷量は平年比103%、市場全体では秋冬作の収量減少に伴う切り上がり早期化により平年比87%と少なかった。入荷量が少ないことから単価は高く、茨城県産は前年比123%、平年比172%、金額は、前年比121%、平年比174%であった。
- ・レタス 茨城県産レタスは、3月中下旬の低温の影響も比較的小さく、トンネル栽培の生育、収量が良好であったことから、入荷量は平年比102%、市場全体では、定植作業遅延や1,2月の少雨の影響により兵庫(前年比57%)等からの入荷量が少なく、平年比93%であった。1,2月と入荷が潤沢であったことから、入荷増・単価安の展開が続き単価は安く、茨城県産は前年比71%、平年比88%、金額は、前年比64%、平年比91%であった。
- ・ピーマン 茨城県産ピーマンは、年明け以降の連続した晴天と気温高により、生育、着果とも良好で、入荷量は平年比144%と多く、市場全体でも、生育がやや前進傾向である宮崎(前年比115%)、高知(同108%)等からの入荷量が月末にかけて漸増傾向であったことから、平年比128%と多かった。入荷量が潤沢であったことから単価は下げ基調が続いており、茨城県産は前年比77%、平年比78%、金額は前年比97%、平年比116%であった。
- ・れんこん 茨城県産れんこんは、昨年の作柄不良により残量が少なく、入荷量は先月からさらに減少し平年比62%、市場全体でも平年比74%であった。単価は、入荷不足による高値基調が続き、茨城県産は前年比111%、平年比153%、金額は、前年比78%、平年比99%であった。
- ・ほうれんそう 茨城県産ほうれんそうは、1,2月の生育がやや前進していたことから3月出荷量も安定し、入荷量は平年比125%と多かった。市場全体では、主要近在産地からの入荷量は安定して多かったものの、埼玉(前年比99%)、岩手(同75%)等、作付け面積が減少した産地からの入荷量が少なく、平年比96%であった。単価は若干安値ではあるものの、年明けから相場は上げ基調で堅調に推移しており、茨城県産は前年比70%、平年比92%、金額は前年比93%、平年比116%であった。
- ・きゅうり 茨城県産きゅうりは、作付け面積減少や、一部産地で、3月中下旬の低温の影響があったことから、入荷量は前年を下回ったものの、平年比100%と平年並、市場全体では、群馬(前年比106%)千葉(同107%)等の主要産地からの順調な入荷により、平年比109%であった。単価は年明けから下げ基調で推移していたが、3月に持ち直し、茨城県産は、前年比85%、平年比81%、金額は、前年比80%、平年比83%であった。

(果実)

- ・いちご類 茨城県産いちごは、県西地域を中心に、2番果と3番果の端境となった影響により3月上旬(平年比89%)、中旬(同63%)と入荷量が平年を大きく下回ったことから、平年比80%と少なかった。市場全体では、九州産を中心に、3番果の収穫・出荷が順調に開始され、平年比97%であった。3番果出荷量が当初の予測ほど増加しなかったことから販売環境は良好で、単価は高く、茨城県産は前年比101%、平年比119%、金額は、前年比86%、平年比95%であった。

★詳細は、茨城県農産物販売推進東京本部 ホームページ「市場情報(青果物)」をご覧ください
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/toryuse/data.html>